

マレーシア・サラワク沖ガス田で新たなガス埋蔵量を発見！ ～マレーシアLNGティガ・プロジェクトの展開～

記者各位

当社(社長:西尾 進路)グループの石油開発部門である新日本石油開発株式会社(社長:大森 輝夫)が出資する日石マレーシア石油開発株式会社は、マレーシア・サラワク沖SK-10鉱区内ラヤン・ガス田において新たなガス埋蔵量を発見しましたのでお知らせいたします。

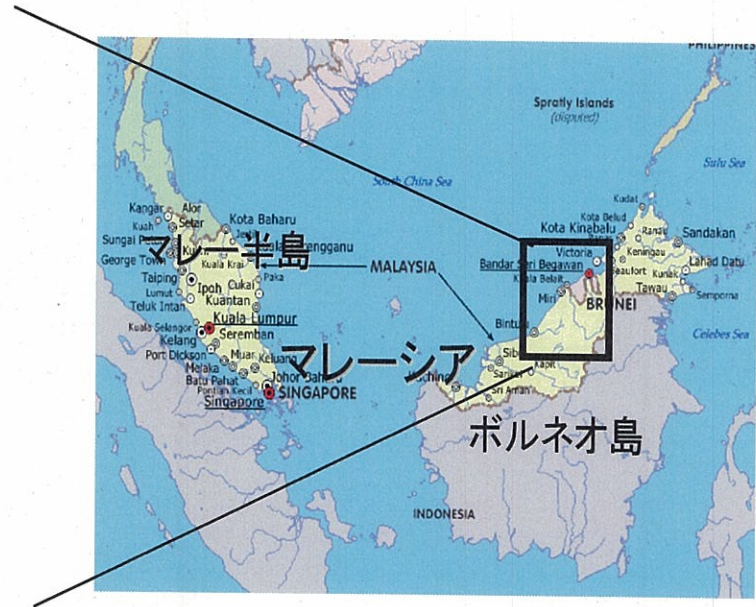
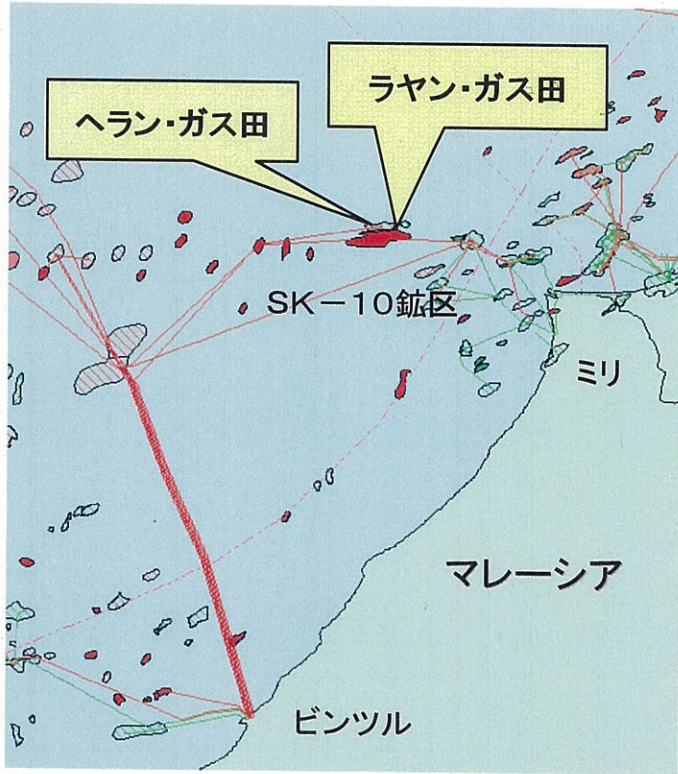
ラヤン・ガス田は、現在商業生産している※1ヘラン・ガス田の東側8キロメートルに位置し、これまで埋蔵量の確認作業を行ってまいりましたが、本年5月より開始した深度3,700メートルの掘削で、ガス層の新たな広がりを見出しました。

その後のガス産出テストの結果、日量計約3,000万立方フィートのガスおよび日量計約2,000バレルのコンデンセートの産出(あわせて原油換算:日量計約7,000バレル)を確認いたしました。

今後は、ラヤン・ガス田の商業生産実施に向けた本格的な準備を行い、商業生産開始後は、ヘラン・ガス田同様、全長約200キロメートルの海底パイプライン経由で、当社が出資するマレーシアLNGティガ社(サラワク州 ビンツル)に天然ガスを輸送し、同社で液化後、LNGとして日本国内の需要家などに販売する予定です。

※1 マレーシア・サラワク沖SK-10鉱区内のヘラン・ガス田は、2003年11月からマレーシアLNGティガ・プロジェクトの一つとして、日石マレーシア石油開発株式会社が75%の権益を保有し、オペレーターとして天然ガスを商業生産中。

以上



マレーシアLNGティガ・プロジェクトの概要

- ・新日石開発、シェルおよびチャリガリ（ペトロナスの開発子会社）等が沖合ガス田で天然ガスを生産。
- ・ペトロナスがガス田から輸出基地ピンツルまでのパイプラインを敷設・運営。パイプラインで輸送される原料ガスをピンツルのLNGプラントで液化し、需要家へ販売。
- ・東北電力、日本のガス会社3社（東京ガス、東邦ガス、大阪ガス）、石油資源開発、東京電力、韓国ガス公社とLNG売買契約（SPA=Sale and Purchase Agreement）を締結。

1. 上流部門について

	SK-8 鉱区		SK-10 鉱区
権益保有者 （※オペレーター）	※シェル …37.5% 日石サラワク …37.5% チャリガリ …25.0%	新日石開発 76.50% 帝国石油 15.00% 三菱商事 8.50%	※日石マレーシア 75.0% チャリガリ …25.0%
		新日石開発 78.73% 帝国石油 15.00% 三菱商事 6.27%	
開発対象ガス田	ジンタン・ガス田	セライ・ガス田	ヘラン・ガス田
開発開始時期	2002年1月	2002年12月	2000年4月
生産開始時期	2004年8月	2004年6月	2003年11月
標準ガス生産量	日量1,400万m ³	日量800万m ³	日量700万m ³
<参考>			
LNG換算	約320万トン/年	約200万トン/年	約160万トン/年
原油換算	約8万バレル/日	約5万バレル/日	約4万バレル/日
コンクリート生産量	約1万4千バレル/日	約8千バレル/日	約1万5千バレル/日



2. 液化プラント合併会社

マレーシアLNGティガ社

- ・LNG生産量：680万トン/年（340万トン/年×2系列）
- ・生産開始時期：2003年3月
- ・出資比率：ペトロナス60%、サラワク州政府10%、新日本石油10%、シェル15%、ダイヤモンド・ガス・ネザーランズ5%



3. マーケティングについて

- ・2001年 4月：東北電力とSPA締結（2005年度より20年間、50万トン/年）
- ・2002年 2月：ガス3社（東京ガス、東邦ガス、大阪ガス）とSPA締結（2004年度より20年間、最大160万トン/年）
- ・2002年 4月：石油資源開発とSPA締結（2002年度より20年間、最大48万トン/年）
- ・2003年 3月：東京電力とSPA締結（2003年度年間契約）
- ・2003年 5月：韓国ガス公社とSPA締結（2003年度より7年間、最大200万トン/年）
- ・2004年 7月：東京電力との短期SPAを2年間延長（2004～2005年度）
- ・2004年11月：韓国ガス公社と追加供給に合意（2004年度より4年間、合計約280万トン/年）
- ・2005年 7月：韓国ガス公社とSPA締結（2008年度より20年間、最大200万トン/年）
- ・2006年 3月：東邦ガスとSPA締結（2007年度より20年間、最大52万トン/年）

SK-10 鉱区、日石マレーシア石油開発株式会社の概要

1. マレーシアSK-10 鉱区の概要

1987年 10月	日石マレーシア石油開発(株)設立
11月	マレーシア国営石油会社ペトロナスとの間で生産分与契約(PSC)、ペトロナスの子会社チャリガリとの間で共同操業契約(JOA)締結
1990年 11月	ヘラン・ガス田発見
1991年 5月	ラヤン・ガス田発見
1995年 8月	ペトロナスとの間でガス田の開発・生産に係る基本合意書締結
1997年 5月	ヘラン・ラヤン両ガス田を除くSK-10 鉱区を放棄
1999年 11月	三菱商事(株)が日石マレーシア石油開発(株)の増資新株式を引き受け、株主(出資比率7.37%=当時)となる。
1999年 12月	ペトロナス、ヘラン・ガス田開発計画(FDP)承認。
2000年 4月	石油公団、ヘラン・ガス田開発移行および債務保証採択承認。 国際協力銀行、ヘラン・ガス田に係る融資承認。
2000年 11月	帝国石油(株)が日石マレーシア石油開発(株)の増資新株式を引き受け、株主(出資比率15.00%)となる。
2003年 11月	ヘラン・ガス田商業生産開始

2. 日石マレーシア石油開発株式会社について

- ①名 称： 日石マレーシア石油開発株式会社
(英文名) Nippon Oil Exploration (Malaysia) Limited
- ②設 立： 1987年10月14日
- ③所 在 地： (本社) 東京都港区西新橋1-3-12
- ④代 表 者： 代表取締役社長 大森 輝夫
- ⑤資 本 金： 131億円(2007年6月末現在)
- ⑥株 主： 新日本石油開発株式会社グループ(78.73%)、国際石油開発帝石HD株式会社(15.00%)、三菱商事株式会社(6.27%)
- ⑦事業目的： マレーシアおよびその周辺地域における石油、天然ガスその他鉱物資源の探鉱・開発、およびそれらの副産物の採取・加工・貯蔵・売買・輸送など
- ⑧社 員 数： 172名(2007年6月末現在)

以 上